

\* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。

定期点検は非常に大切です。ヤマハ発電機サービス店にご用命ください。

## 燃料タンクストレーナの清掃

- 1 エンジン停止
- 2 燃料タンクストレーナの清掃  
燃料タンクキャップ  
ストレーナ  
ガソリン
- 3 ストレーナを拭き、元の位置に戻し、燃料タンクキャップを取り付ける

## マフラーワイヤネットの清掃

- 1 スクリューを外し、カバーを外す
  - 2 ブラシでこする  
マフラーワイヤネット  
ゆるめて外す  
スパークアレスター
- ①を②の穴に合わせてはめる

## エアクリーナエレメントの点検・清掃

- 1 エンジン停止後エアクリーナカバーを固定しているスクリューを外す
- 2 エレメントを外す
- 3 きれいな白灯油で洗浄しエンジンオイル等にひたす
- 4 余分なオイルを取り除きエアクリーナ本体に戻す

## スパークプラグの点検・清掃

- 1 エンジン停止
  - 2 カバーを開けスパークプラグキャップを外す
  - 3 同梱のツールを使いスパークプラグを外す  
ゆるめる  
しめる
  - 4 スパークプラグの点検  
キツネ色→OK  
白/黒→NG  
→エアクリーナ点検  
※汚れを落とす  
0.6~0.7mm
  - 5 スパークプラグを取り付ける  
指でしっかりと締める  
トルクレンチ = 15N・m~25N・m  
1/4~1/2回転レンチで締める
  - 6 スパークプラグキャップを取り付け、カバーを閉じる
- 必ず指定品(NGK-BPR6HS)を使用してください。

## エンジンオイルの交換

- 1 2~3分暖機運転後エンジン停止
  - 2 スクリューを取り外し、カバー上部を持って手前に強く引いてカバーを取り外す
  - 3 オイルプラグを取り出す
  - 4 発電機本体を傾けてエンジンオイルを抜く
  - 5 注入口の口元まで規定量給油  
オイル規定量  
エンジンオイル 400mL  
ココまで入れる  
※発電機本体を水平に置いた状態です。
  - 6 オイルプラグを締め付ける
- エンジンオイル  
容量：400mL  
グレード：API分類SE級以上のエンジンオイル (SAE10W-30または10W-40)
- オイルが少ない場合は始動しません。また、規定量以上に給油しないでください。

# 長期保管手順

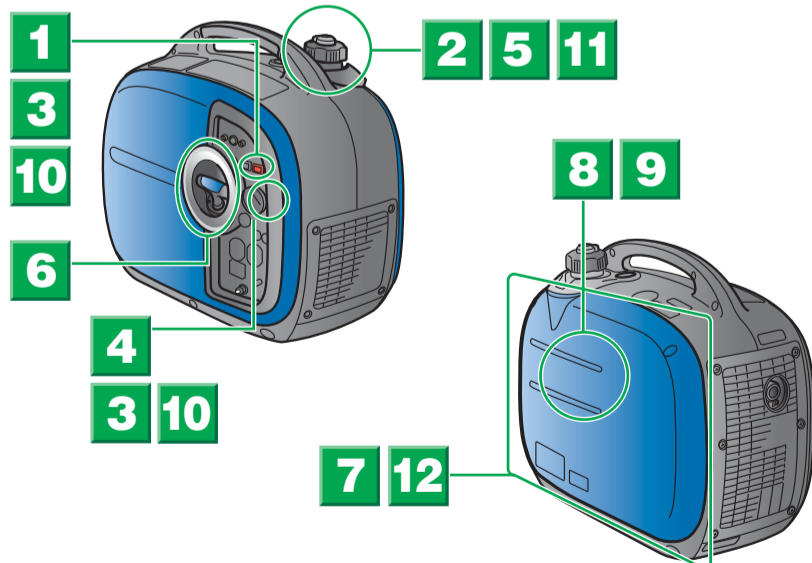
\* 本体同梱の取扱説明書を必ずお読みください。

要 点 使用後、または定期運転後次回の使用が3ヶ月以降になる場合は、1~12の作業を行なって保管し、次に使用する時に備えてください。排出する燃料を受け取る容器を用意してください。

- 1 エンジンスイッチをSTOP(停止)の位置にしてエンジンを停止します。
- 2 燃料タンク内の燃料を抜きます。  
▲注意  
●燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。  
●こぼれた燃料はただちに布きれ等で完全にふき取ってください。
- 3 エンジンスイッチをON(運転)の位置にします。
- 4 燃料コックをOFF(閉)からON(開)にします。
- 5 燃料給油キャップつまみをON(開)にします。

▲警告  
燃料のガソリンは高い引火性と爆発力がありますので、次の事項を必ずお守りください。  
●燃料の抜き取りは、換気の良い場所でエンジンを停止してから行ってください。  
●燃料の抜き取り中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。また静電気が発生しないように注意して行ってください。  
●燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または燃料が目に入ったりした場合は、ただちに医師の診断を受けてください。また燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水でただちに洗い、衣類は取り替えてください。

▲注意  
●燃料が変質してエンジンの始動が困難になる場合がありますので燃料は抜いてください。



- 6 リコイルスタータハンドルを引いてエンジンを始動します。数分後にエンジンは「ガス欠状態」で停止します。
- 要 点  
●電気器具は接続しないでください。(無負荷運転)  
●燃料タンク内の燃料残量によって「ガス欠状態」になるまでの時間は変わります。

- 7 スクリューを取り外し、カバーを外側に引いて取り外します。

- 12 カバーを取り付けて、スクリューを締め付けます。

- 11 燃料給油キャップつまみをOFF(閉)にします。

- 10 エンジンスイッチをSTOP(停止)の位置、燃料コックをOFF(閉)にします。  
エンジンスイッチ  
燃料コック

- 9 ドレンスクリューを締め付けます。

- 8 キャブレタのドレンパイプを容器に受け、キャブレタのドレンスクリューをドライバⓈで緩めて燃料を抜きます。
- ▲警告  
●こぼれた燃料はただちに布きれ等で完全にふき取ってください。
- 要 点  
キャブレタ内のガソリンを抜かずに長期間放置すると、ガソリンが変質しエンジンがかからなくなる場合があります。